



ラジオコントロール

タミヤのRCカーを始めるための

# お役立ちガイド



タミヤの本格ホビーRCカーを始めるのに役立つノウハウを学んで、君もRCライフを楽しもう！

## 《基本走行編》

RCカーの基本操作／メンテナンス

## 《組み立て編》

組み立てツール／ボディの塗装



# 組み立てツールを知ろう

RCカーの組み立ては、RCライフを始める第一歩。だから、組み立てに使うツール(工具)はとても重要です。ここでは、組み立てツールはどんなものを選んだらいいか、どう使うのかをアドバイスしましょう。



## 用途に合わせてツールを使いこなそう

RCカーの組み立てに欠かせないのがツール。パーツを切ったり、ネジを締めたりするのに必要なツールは、用途にあったものを選んで、正しく使うのがポイント。組み立てがしっかりできればRCカーの性能を十分発揮させることができるし、故障やトラブルも防ぎます。

## 切る



パーツを切り離そう!

### ニッパーでていねいにカット!

タミヤのRCモデルは主にプラスチックパーツを使っています。プラスチックパーツはプラモデルと同じようにランナーと呼ばれるワクについています。このランナーから必要なパーツを切り離すのが組み立ての第1歩。手でむしり取ると必要な部分が欠けてしまうこともあります。ホビー用ニッパーを使って、ていねいにランナーからパーツを切り離します。



ニッパーでプラスチックパーツを切り離すときは、ニッパーの平らな面をパーツ側に向けて使います。ギリギリのところでカットするとパーツを傷めることがあるので、ランナーを少し残してカットするのがコツ。その後、余分なランナーをニッパーで大まかに切り取ります。



モデラーズニッパーα(グレー) ITEM 74093

## ワンポイントアドバイス

### 説明図に合わせてパーツをカット

ランナーにはアルファベットが、各パーツの近くには数字が彫刻されています。例えば「V4」パーツは、Vランナーの4番がそれ。一度にたくさんパーツをカットするとどの部品かわからなくなってしまうので、組立説明図の流れにあわせて切り離します。



## 切り離し部分の仕上げ



### クラフトカッターでキレイに

ニッパーで切り離れたパーツに残っているランナー部分は、クラフトカッターを使って整えます。余分なランナーが残っていると、パーツがうまく合わなくなるので切り離れた部分をキレイに仕上げてください。クラフトカッターの取り扱いに慣れていない方は、目の細かいヤスリなどを使ってもOKです。

## 締める



## 組み立ての要、ドライバー

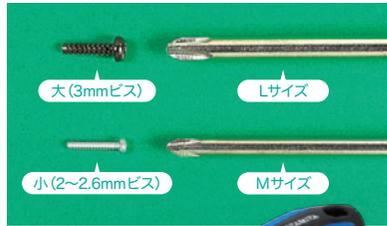
### RCに使われるビスの種類

RCカーの組み立ては、そのほとんどがビスを締め込んでパーツを固定する作業です。タミヤのRCカーにはプラスチックパーツを固定するために「タッピングビス」と呼ばれるビスが多く使われています。サイズは大(3mmビス)と小(2~2.6mm)の2種類で、そのほとんどは頭の溝が+の形をしたプラスビスです。

### どんなドライバーがいいの?

RCカーを組み立てるときになくはならないツールが、ビスを締め込むドライバー。ドライバーを選ぶときに重要なポイントは、ビスの頭の溝とドライバーの先端の大きさが合っていること。サイズが違っていると、ビスの頭の溝を傷めてしまって、締め込めなくなってしまいます。タミヤのRCカーには主に大小2種類のプラスビスが使われているので、ビスのサイズに合わせた2種類のプラスドライバーを用意しましょう。タミヤからはRCモデルに使われるビスのサイズに合わせた専用設計の高精度ドライバー「プラスドライバー PRO」がラインナップしています。3mmビスにはLサイズ、2~2.6mmビスにはM

サイズがジャストフィットするのでビスを傷めにくく、またグリップも手の大きさにかわからず、しっかり握れて手によくなじむ形と素材を採用しています。



ブラスドライバー PRO (Lサイズ) ITEM 74120



ブラスドライバー PRO (Mサイズ) ITEM 74119

※RCツール8本セット (ITEM 74085)にも両サイズのブラスドライバーがセットされています。

## ドライバーの使い方

### 角度はまっすぐ、垂直に

ビスを締めるときは、ビス穴に対してビスをまっすぐ垂直にするのが基本。ビスを斜めに締めてしまうと最後まで締め込めなばかりか、パーツをしっかりと固定できません。ビス穴にビスの締めあとが斜めについてしまうので、ひどい場合はビス穴がつぶれて使えなくなってしまうこともあるので注意しましょう。



ビスを締め込むときは机などの上にマシンを置いて作業するといいでしょ。

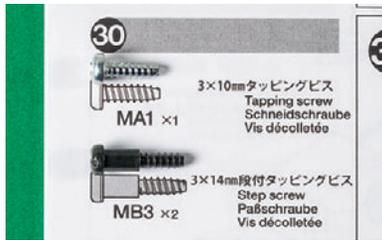
### 押しが7割、回しは3割!

ドライバーでビスを締め込むときは「回す」ことばかり考えがちですが、ビスの頭にドライバーの先端がしっかりとかみ合うように、ドライバーをビスに押しつけながら回すのがコツです。押しあてる力が弱すぎると、サイズのあったドライバーを使っても空回りしてしまって、ビスの頭を痛めてしまうことがあります。ビスを締めるときは力のかけ具合は押しつけに7割、回しに3割で行うといいでしょ。



## ワンポイントアドバイス

### 説明図をとことん活用しよう!



タミヤのRCの組立説明図には、ページの左側にビスなどのパーツの実物大イラストがあります。使用するパーツがわからないときは、イラストにパーツをあててチェックすれば簡単。また、イラストの色がグレイの場合は使うパーツが黒などの色の濃いもの、白い場合はシルバーなど薄いパーツを表しています。

## 締めこみは確実に

### しっかり締めてトラブル防止

ビスをしっかり締め込んでいないと、パーツがガタついて本来の性能を発揮できないばかりか、マシンが急に動かなくなったりするなどトラブルの原因になります。RCカーを長く楽しむためにも、ネジの締め具合をチェックしながら組み立てよう。パーツどうしにガタがないか手で動かしてみるのもいいでしょう。



### どこまで締めればいいのか?

ビスを強く締め込みすぎると、ビス穴をつぶしてしまう場合があります。タッピングビスの場合は、締め込んで止まったところから約1/4回転回すくらいが適切な締め込みポイント。また、締め込みすぎると可動部分がなめらかに動かないこともあります。ビスを締め込んだら、足回りやギヤの動きをチェックして、動きが重いようなら少しずつ緩めながら調整してみましょう。



足回りなどのパーツがスムーズに動かかチェックしておこう。サスアームは手で持ち上げて離したらスッと降るのが理想。



ギヤケースなど駆動部分は、ビスを締め込みすぎると回転が重くなる場合があるので、ギヤを手で回してチェックしよう。

## 挟む



### がっちり挟んできっちり固定

ピストンロッドなど素手ではつかみづらいパーツを組み付けるときに役立つのがラジオペンチ。しっかり固定できる反面、挟んだパーツにキズがついてしまうこともあります。特にオイルダンパーのピストンロッドはキズがつくと動きが悪くなるだけでなく、オイル漏れを起こす原因になります。ラジオペンチで挟むときは布や厚紙などを間に入れ、直接ロッドを挟まないようにしましょう。



## 安心のフルサポートはタミヤだけ、困ったときはカスタマーサービスへ

「組み立て途中でわからなくなって困った」、「クラッシュなどのトラブルでマシンの調子が悪くなったり、動かなくなった」。そんな時に頼りになるのがタミヤのカスタマーサービス。疑問やトラブルはもちろんタミヤ製品に関するお問い合わせにも電話でスピーディーに対応。また製品を送送していただければ修理の依頼もお受けします。さらに、修理のためのスペアパーツ、チューンナップのためのオプションパーツの注文も可能です。

タミヤ・カスタマーサービス 受付時間：平日9:00～18:00 土日祝8:00～12:00、13:00～17:00

電話：054-283-0003 [静岡] 03-3899-3765 [東京] 静岡へ自動転送

お問い合わせの際には、電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願い致します。





# ボディの塗装方法を学ぼう

塗装がばっちり決まればマシンもいっそう速く見えてくるもの。個性を主張できるボディはまた、転倒のショックからシャーシを守る役割もあります。でも、どうすればうまく塗装できるんだろう。



## ボディを塗装してみよう!

走りを楽しむRCカーですが、ボディを美しく仕上げるのも面白さのひとつ。実車そのままの塗装で仕上げたり、仲間とチームカラーで決めてみたり、多くのドライバーが思い思いの方法で楽しんでいます。ここではネオ マイティフロッグを例に、ボディの塗装方法を紹介しましょう。

### 塗装の基本的な注意

- ★換気をしながら塗装 ボディの塗装中や塗装後しばらくの間は、空気の入れ換えをよくしてください。
- ★火の近くでは塗装しない 塗料やその溶剤には引火性があるので火気厳禁です。
- ★天気の良い、湿気の少ない日に塗装 雨など湿気の多い日は、塗装面が白く曇る(カブる)ことがあります。

## ボディ塗装の基礎知識

### RC用ボディの種類は?

タミヤのRCカーで使用されているボディを大きく分類すると2種類。軽量で強度に優れているポリカーボネート(以下:ポリカ)製と、精密な金型で作られスケール感が高いスチロール樹脂製。それぞれに適した塗料や塗装方法があります。今回はポリカボディのネオ マイティフロッグを例に塗装をしていきましょう。



### ボディ塗装に必要なものは?

ポリカボディは専用塗料「タミヤカラー・ポリカーボネートスプレー」で塗装します。塗料以外にはボディをカットするカッターナイフやハサミ、塗り分けをする場合はマ

スキングテープが必要です。説明図をよく読んで使用する塗料の種類や、作業の手順を確かめておくことがスムーズに塗装を進めるコツです。なお、ポリカボディをプラスチック用塗料で塗装すると衝突などで簡単に割れてしまいますから、使わないでください。



## 塗装のための下準備

### ボディをカットする

最初にカッターナイフやハサミでボディをカットします。カッターナイフでボディのカットラインに1~2度軽く切り込みを入れ、折り曲げるようにすれば、パチンとカットできます。またツーリングカーのホイールアーチなどの曲線部分には「曲線バサミ」を使うと楽に切り抜くことができます。

ポリカボディの表面には保護用のビニールがついている場合がありますが、これは表面への塗料の付着を防ぐ役割もあるので剥がさないでおきましょう。

ボディをカットする際は勢い余ってケガをしないよう注意。



### ボディをしっかりと洗う!?

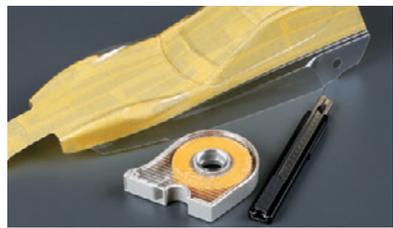
ボディに油分や汚れなどが付いていると塗料が上手く付着しないので、塗装前に中性洗剤を使ってしっかりと洗います。洗浄後は洗剤を洗い流してから、充分乾燥させてください。この作業時間を短縮するのが「プレベイントクリーナー(ポリカーボネート)」。布にしみこませて、塗装面を拭き取るだけで油分や汚れを落とすことができ、すばやく乾燥するのですぐに塗装に取りかかれます。



プレベイントクリーナー  
ポリカーボネート用 ITEM 87118

### マスキングテープで塗り分け

2色以上の塗料を塗り分ける場合に活躍するのがマスキングテープ。塗料しない部分をあらかじめマスキングテープでカバーします。今回はホワイトで塗装する部分をマスキング。ポリカボディは裏面に塗装するので、マスキングテープも裏面に貼ります。マスキングテープの縁の部分が浮き上がっていると、その隙間から塗料がしみ込んで失敗してしまいますので、爪の先などでテープの縁をしっかりと押さえて密着させましょう。また、塗料が表側に回り込むのを防ぐために、保護ビニールがついていない場合、表側もマスキングしておきます。マスキングテープは幅の違うものが数種類あるので、ボディの形や面積にあわせて使い分けると効率的です。



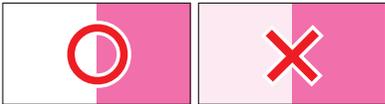
マスキングし忘れた部分がないか、しっかりと確かめよう。

さあ、塗装開始!



▶ 塗装の順番

ポリカボディは裏側から塗装するので表から見た場合、最初に塗った色がいちばん表に出ます。ですので先に暗い色を塗ってから明るい色を塗るのがポイント。明るい色を塗ってから暗い色を塗り重ねると、色が重なった部分が他より暗く見えてしまうからです。今回は元祖マイティフロッグのカラーリングをモチーフにホワイトとピンクで塗り分けるので、先にピンクを塗装。塗料が生乾きの時にマスキングテープをはがし、ピンクの塗料をよく乾かしてからホワイトを塗り重ねます。



▶ スプレー塗装のコツは?

- 塗装面から30cmぐらい離し、スプレー缶を横に動かしながら塗装していきます。細かく入り組んだ箇所があれば、そこから塗装していこう。
- 一度に厚く塗ると、塗料が流れてしまいますから、軽色がつくぐらいにスプレーし、乾いてからまたスプレー...という手順を2-3回くり返していきます。
- 一度塗装を終えたらボディを光にかざし、塗りムラや塗り残しがないか確認しましょう。塗りムラがあると別の色を後で塗装する場合、塗料が透けてしまいます。



塗装が終わったら保護ビニールをはがし忘れないように。

▶ 塗料がはみ出しました!

マスキングが不十分で塗料がしみ出しました!そのまま塗装を進めると、せっかくのボディも台無しです。そんな時に頼れるのが、ボディ・クリーニングの時に使用した「プレペイントクリーナー(ポリカーボネート用)」。完全に乾いてしまった塗料も、ボディを痛めずに落とすことができる優れたもの。クラフト綿棒などにクリーナーを少量含ませ、はみ出た箇所を軽くこすればあら不思議、はみ出た塗料がきれいに拭き取れます。



いよいよ仕上げ作業!

▶ ステッカー貼りのポイント

最後にボディの仕上げの重要なポイントとなるステッカーを貼り付けます。せっかくのステッカーも、貼る位置がずれていたり、斜めになっていたり、さらにシワがよっていたら、決して美しい仕上がりに是不会。次に紹介する貼り方は上手に仕上げる方法の1つです。



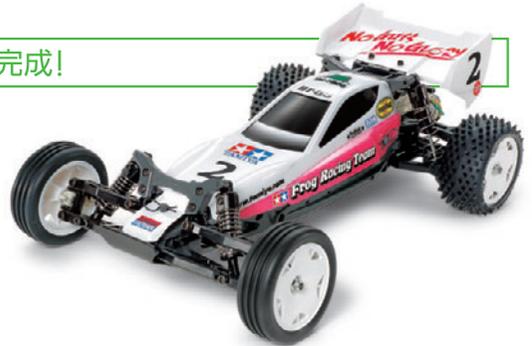
ステッカーの絵柄よりひと回り大きく裏紙ごと切り取ります。裏紙を少しだけめくり、裏紙だけを1/4ほどを切り取ります。



裏紙を残したまま位置を確かめながらステッカーを軽く貼り付け、位置が決まったら裏紙を剥がしながら貼り込んでいきます。気泡が入らないよう押さえながら貼るのがコツです。

シャーシに取り付けて完成!

マーキングが終わったらボディをシャーシに取り付けて完成。これですぐに走行を楽しめます。今回はキット標準に近いカラーリングとマーキングでしたので比較的手軽に仕上がりました。次はワンステップ上の個性あふれるオリジナル塗装に挑戦するのも面白いでしょう。

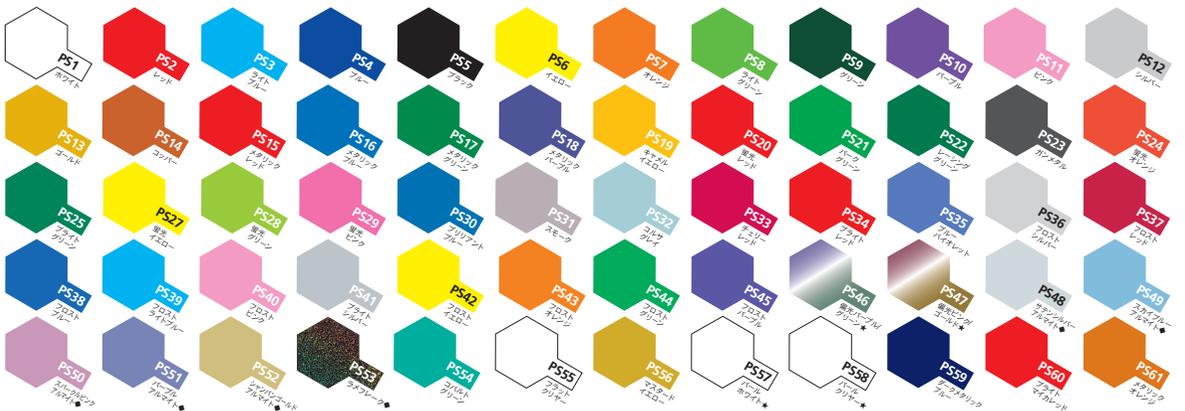


TAMIYA COLOR タミヤカラー・ポリカーボネートスプレー

このPS印が目印▶



RCカーにふさわしい鮮やかなカラーを揃えました。重ね塗りすることで深みのあるマイカ色が再現できるフロストカラー、見る角度によって色が変化する偏光カラー、硬質な金属感が魅力のアルマイトカラーもあります。





# 愛車をいたわる日頃の手入れ

迫力満点の走行が楽しめるタミヤのホビー RCモデル。いつもベストなコンディションで遊ぶためには日頃の手入れ(メンテナンス)がとても重要です。でもメンテナンスってどんなことをすればいいんだろう？

## メンテナンスで快適RCライフ！

丈夫なRCカーですが、走行すればどうしても部品がすり減ったり各部にゆるみが出てきますし、クラッシュすれば傷みもひどくなります。手入れ(メンテナンス)をしないと、車の調子が悪くなってしまいますので、定期的に愛車を整備して、常にベストなコンディションを保ちましょう。

### 清掃から始めよう！

#### ▶ 清掃はメンテナンスの基本

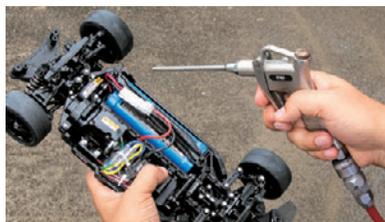
ほとんど路面に接するようにして走行するRCカーは、砂やホコリを巻き上げて汚れが進みます。汚れたまま走行を続けていると、パーツの摩耗を早めて故障の原因になることも。また汚れた状態で整備や修理を行えば、ギヤケース内部などに砂やホコリが入って大きなダメージを与えかねません。そんなリスクを避けるためにも走行後は必ず車体をきれいにしましょう。

#### ▶ ホコリやゴミを取り払う



車体の清掃は、塗装用の大きめのハケを使えば砂やホコリを簡単に落とせます。また、細かな箇所は歯ブラシや小さめのハケを使うのもいいでしょう。エアークンプレッサーを利用できる場合はエアの圧力で汚れを手

軽に吹き飛ばすことができます。ただし、エアークンプレッサーを使う時にはエアをベアリング等に直接あてないように注意。付着していたゴミを内部に押し込んでしまい、性能を低下させる場合があります。さらに、念入りに清掃すれば、サスペンションなど入り組んだ箇所まで自然に目を配ることができ、パーツの破損やオイルの漏れなど修理が必要な箇所を発見しやすくなります。清掃はメンテナンスの基本作業なのです。



### シャーシのメンテナンス

#### ▶ 第1歩はグリスアップ

ギヤやジョイントなど走行時に擦れ合うパーツの動きをスムーズにし、摩擦を防ぐのがグリスです。組み立て時にしっかりつけたグリスも走行を重ねると飛び散って少なくなったり、汚れてくるので、定期的にグリスア

ップしましょう。グリスが汚れていたりゴミが付いていたら、グリスを一度キレイに拭き取ってから新しいグリスを付けましょう。ギヤやジョイントには強い力がかかっているので、しっかりとグリスアップしていても少しずつ摩耗します。もしギヤやジョイントがすり減って、ガタが大きくなっているようなら交換も必要です。



### ワンポイントアドバイス

#### グリスはしっかり使い分けよう！

RC用に発売されているアンチウエアグリスとセラグリスHG。どちらも主な目的な潤滑ですが大きな違いは粘度(粘り気)。アンチウエアグリスは粘度が高く高速回転するユニバーサルシャフトなどに塗っても飛散しにくいのが特徴。セラグリスHGは粘度が低く潤滑性により優れ、ギヤや軸受けなどに適しています。使用箇所にあわせて上手にグリスを使い分けましょう。



アンチウエアグリス ITEM 53439  
セラグリスHG ITEM 87099

#### ▶ ビスは定期的に増し締め

組み立て時に確実に締め込んだビスも走行中の振動やショックで緩むことがあります。そのまま走行を続けているとマシンが安定して走らなくなるのはもちろん、パーツの脱落や思わぬ破損の原因になります。ビスの増し締めは定期的に行いましょう。また、頭のつぶれかかったビスや角の丸くなったナット、クラッシュの衝撃で曲がったビスなどは交換しておきましょう。





## ▼ サスペンションのチェック



サスペンションはクラッシュなどで痛みやすい部分です。アームの曲がりやネジ穴の痛み、取り付け部のガタなどをチェックして、痛みがひどいようならパーツを交換しましょう。また、ダンパー内のオイルは走行する度に少しずつ減っていますので継ぎ足します。その際、オイルが汚れていればオイルを新しく入れ直すのがベストです。ダンパーからオイルが漏れているようならシール用のOリングが傷んでいる証拠、新品に交換しましょう。同時に、ダンパーシャフトにキズや曲がりがないかもチェックします。特に、ダンパーシャフトのキズはOリングを痛めてしまうので新品と交換するのがお勧めです。

## ▼ ステアリングリンクージはガタをチェック

ステアリングサーボの動きを前輪に伝えるリンクージも、衝突などのショックで痛みやすくガタが出やすい部分です。特にサーボセイバーは走行中、常に大きな力を受けているため徐々にステアリング反応が鈍くなります。また、ボールジョイントもショックで外れたり、着脱を繰り返すとクセがついて外れやすくなるもの。どちらのパーツも定期的に交換するのが効果的です。

## ▼ 走りを左右するタイヤ

すり減ったタイヤは新品に比べグリップが下がり走行性能がダウンします。タイヤと路面が接するトレッド面が薄くなってきたら交換しましょう。またホイールとの接着がはがれると、タイヤのヨレが大きくなってコーナリング中のスピンの原因にもなります。もしはがれていたら瞬間接着剤で接着しておきましょう。



ゴムタイヤ用瞬間接着剤  
(低粘度タイプ 25g) ITEM 54511

## ▼ ボディもしっかり補修

RCカーのボディは車種やカラーリングで個性を表現できるパーツ。でも、見た目以外にクラッシュなどの衝撃からシャーシを守るという重要な役割もあります。割れたり、欠けたりしていると見栄えが悪くばかりか、この機能が発揮できなくなります。ボディの破損がひどくなる前にガラス繊維入りのテープ「アルミグラスメッシュテープ」などをボディの内側に貼って補修。曲面にも良くなじむので指でしっかりと押さえながら貼ります。もちろん、破損がひどい場合は交換しましょう。



アルミグラスメッシュテープ  
ITEM 53351

## 電気の流れ道をチェック

## ▼ 電気コードの痛みに注意

ESC(スピードコントローラー)の電気コードはシャーシとこすれたり、路面と接触して被覆が破れる場合があります。コードの痛みは走行不能になるばかりでなく、ショートしてコードが燃えたりする原因になるので十分注意が必要。必ずビニールテープでカバーしましょう。また、受信機やサーボなどRCメカのコードの痛みはノーマルの原因になる場合があるので、ESCと同様に配線をチェック。サーボやESCを受信機につなぐコネクタの差し込みが緩んでいないのかも確かめておきます。なお、走行用バッテリーのコードが痛んだ場合はビニールテープでカバーしてショートを防ぎ、すぐにタミヤ・カスタマーサービスにお送りください。



## 交換パーツの入手

## ▼ パーツを注文しよう!

「メンテナンス中に交換が必要になったパーツはどうしたら手に入るの?」ご安心ください。タミヤのRCモデルのパーツは「カスタマーサービス取次店」となっている

取り扱い店、またはタミヤカスタマーサービスに直接注文すればOK。もし、パーツの注文や交換の仕方がわからない場合はカスタマーサービスまでお気軽にお問い合わせください。パーツの販売から修理まで、あなたのRCライフをサポートします。

## タミヤ・カスタマーサービス

受付時間：平日9:00～18:00  
土日祝8:00～12:00、13:00～17:00

電話：054-283-0003 [静岡]

03-3899-3765 [東京] 静岡～自動転送

お問い合わせの際には、電話番号をおぼけめの上、お掛け間違いのないようお願い致します。

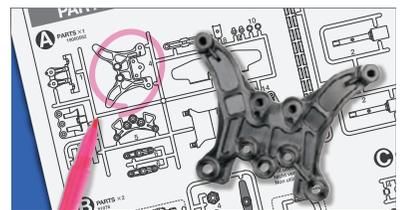
www.tamiya.com

タミヤホームページ お問い合わせ

## ワンポイントアドバイス

## 説明図で必要なパーツをチェック!

販売店やカスタマーサービスでパーツを注文する時はパーツ名や番号が必要です。欲しいパーツがどれなのか、説明図をよく見て調べよう。樹脂パーツはランナー(樹脂パーツが配置されたプラスチック製の枠)単位での購入なので、例えば「A4」パーツが欲しい場合は「A」パーツ」を注文します。ビス類は長さや径の違いで何種類もあるので間違えないようにしましょう。また、説明図の巻末にあるリストのパーツ名の先頭が「SP」や「OP」のものは、「SP」はスペアパーツ、「OP」はオプションパーツなので、お店で直接購入できます。



欲しいパーツがどれなのか説明図でチェック。樹脂部品の「A4」が必要な場合、「A」パーツを購入します。

1/10 R/C		TAMIYA	
TE-028 CHASSIS		TAMIYA	
部品名	部品番号	部品名	部品番号
SP.38 十字レ	54511	SP.171 耐熱両面	54511
SP.171 耐熱両面	54511	SP.197 スナック	54511
SP.197 スナック	54511	SP.573 2x8mm	54511
SP.573 2x8mm	54511	SP.575 2.6x10	54511
SP.575 2.6x10	54511	SP.576 3x3mm	54511
SP.576 3x3mm	54511	SP.577 3x1	54511
SP.577 3x1	54511		

説明図巻末のリストに記載された部品名の先頭に「SP」や「OP」の表記があるパーツはお店で購入できます。



# 操縦テクニックをマスターしよう

手軽に楽しめる一方で操縦テクニックや走行性能の奥深さも併せもつRCカー。なかでも人気の高いオンロードツーリングカーを中心に、操縦テクニックやサーキット走行の知識などをご紹介します。

## ドライビング基本練習

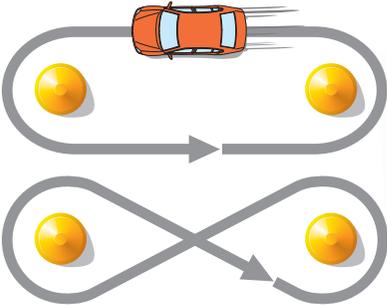
RCカーはお気に入りの場所で気ままに走らせるだけでも楽しいものですが、それだけではなかなか上達しません。とはいえ、いきなりRCサーキットに出かけるというのも考えもの。まずはサーキットデビュー前の第一歩として、コーナーマーカーやパイロンを使ってトレーニングをしてみましょう。



### ▶ オーバルコースで基礎練習

マーカーやパイロン2つを使った最も簡単なコースです。とてもシンプルなコースですが、マーカーやパイロンをコーナーの頂点として正確にまわるようになるには練習が必要です。最初はゆっくりした一定のスピードでステアリング操作の練習。次に直線部分ではスピードを上げ、コーナーに近づいたらスピードを落とすスピードコントロールの練習を加えます。まずは右まわり、左まわりとも安定して走れるまで練習してみましょう。

#### オーバルコース



### ▶ ステアリングが逆になる?

RCを初めて間もないころは、RCカーが自分の方に向かってくる時に、思っているのは逆方向に曲がってしまいます。こんな場合はまず「自分はRCカーに乗っている」とイメージしながらトレーニングしましょう。RCカーの操縦席から見たコースを即座にイメージできるようになれば、違和感なくコントロールできるようになります。



自分がRCカーに乗って操縦しているつもりで。

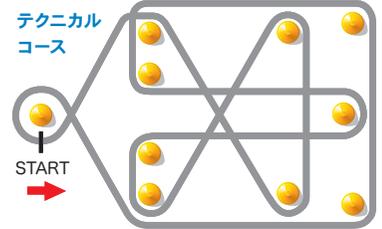
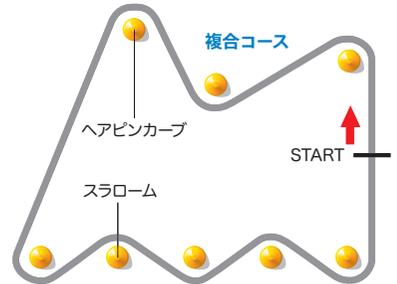
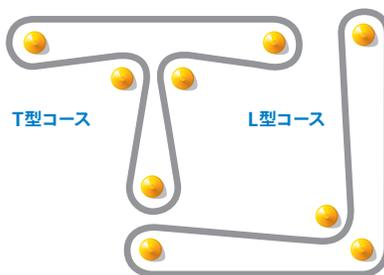
### ▶ 視線のポイントは?

RCカーの操縦では、どこを見るかということも大切なポイントです。ついマシンを中心に見てしまいがちですが、これはNG。RCカーが時速30キロで走っているとすれば、1秒間に進む距離は約8.3mにもなります。これでは車だけ見ていたら、前方に障害物があるのに気付いても回避できず、コーナーもうまく曲がれません。視線はできるだけ車の進行方向にあわせ、早めにマーカーやパイロンの位置をチェックし、コーナーを処理していきましょう。



### ▶ ジムカーナ感覚で 応用練習

オーバルコースをスムーズに走行できるようになったら、基本的なドライビングテクニックはマスターできたと言えるでしょう。次は複数のマーカーやパイロンを使って応用コースで練習。スラロームを入れたり、直線の最後にヘアピンカーブを入れたりするのがポイント。仲間とタイムを競い合えば、実車のジムカーナ競技のように楽しめます。競い合いながらのトレーニングが上達への早道です!



### ▶ いつでも 気軽に練習できる!

練習用のコーナーマーカーやパイロンはRC用に市販されているものを使うのもいいですが、身近にあるものも利用できます。たとえば使用済みのペットボトルに水を入れれば、即席パイロンのできあがり。これならばRCカーだけ持って出かけても、練習場所で調達することが可能です。



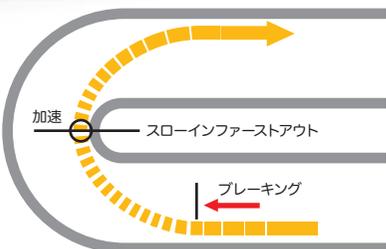
## サーキットへ出かけよう

ある程度マシンの走りに慣れたらサーキット走行にチャレンジしてみましょう。  
 沢山のマシンが走るサーキットでの初走行はちょっと緊張しますが、単独走行では味わえない  
 楽しさがいっぱい。上達へのヒントもたっぷりつまっているの、ぜひ挑戦してみましょう。



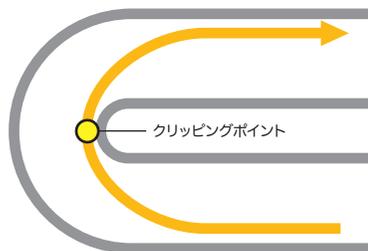
### スピードコントロールは スローイン・ファーストアウト

ヘアピナーカーをはじめ、減速が必要なコーナーでは、直線部で確実にスピードを落としてコーナーに進入し、コーナーの頂点を過ぎるあたりからスピードを上げていく「スローイン・ファーストアウト」が原則です。減速せずに進入したほうが速そうに思えますが、オーバースピードでコーナーに進入すると旋回中にスピードを落とさなければならず、車の挙動が乱れがち。スピンやコースアウトの可能性が高まるうえ、加速を始めるタイミングも遅れ気味になるため、結果的にはスローイン・ファーストアウトより遅いコーナリングになってしまいます。



### ライン取りの原則は アウト・イン・アウト

スピードコントロールと共に重要なのが、コーナーをどのような走行ラインでまわっていくかのライン取りです。その原則は「アウト・イン・アウト」。図のようにコースのいちばん外側からコーナーに進入し、コーナーの頂点付近で車をいちばん内側につけ（クリッピングポイント）、コースの外側いっぱいに向けてコーナーを抜けていくライン取りです。コース幅をいっぱい使うことで走行ラインがゆるやかになるため減速も最小限で済み、コーナリング中も速いスピードを維持できます。

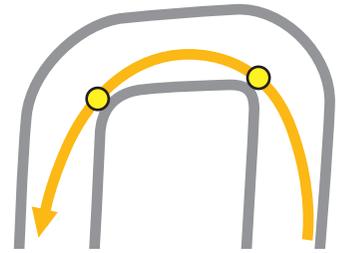


### 複合コーナーは 1つのコーナーとして考える

半径の違うコーナーが連続する「複合コーナー」は、全体を1つのコーナーとしてライン取りをします。また、間に短い直線が入ったコーナーも同様に考えれば、スムーズなライン取りができます。S字やクランクのような形でコーナーが連続する場合には、最後のコーナーの立ち上りで速やかに加速できるライン取りが基本になります。



短い直線が間にあるカーブ



### 減速不要のコーナーは 早めにインに

減速がまったく必要のないような半径の大きなコーナーでは、もちろんインにそってまわるのが有利です。ただ、そのコーナーの次が直線なのか、コーナーが続くのか、直線の場合はその長短、コーナーが続く場合はその向きや半径の大小によって、理想的な立ち上りのラインは変わってきます。

減速が必要ない  
カーブの場合



次にくるコースによって  
立ち上りのラインを考える

### サーキット全体で 走行ラインを考える

ここまでコーナーを個々に取り上げて説明してきましたが、サーキットは多くのコーナーと直線の連続です。実際に走行する場合は、加速や減速のポイントを考えながら一周のライン取りを考え、そのラインをトレースするように車を走らせていくことになります。もちろん、1、2度走らせただけでは、理想のラインで走行するのは困難です。ラップタイムをとりつつ走行ラインに修正を加え、必要に応じてマシンのセッティングにも手を入れていく。路面温度やイン側・アウト側での路面状況の違いなど、ベストの走行ラインを左右する要因は無数に存在しますし、車をチューンナップして加速力や最高速が上がれば、それまで減速不要だったコーナーでも減速が必要になります。こうしたあらゆる要素を加味した理想の走行ラインを見出し、最高のドライビング技術で最速のタイムを刻む。これこそがサーキットでのRCカードライビングの醍醐味です。

### ビギナー向けのRCイベントを全国で開催中!

タミヤでは気軽に参加できるビギナードライバー向けの走行会やレースなどのイベントを全国各地で開催中。RCをもっと楽しんだり、ステップアップのためにもピッタリの内容だから、友達や家族を誘っての参加もOK! 開催日程や会場など、詳しくはタミヤのホームページをご覧ください。

レースやサーキット走行会、組み立て教室などの情報も満載。 [www.tamiya.com](http://www.tamiya.com)

RCイベントに関するお問い合わせは(株)タミヤグランプリ係 電話: 054-283-0002  
 受付時間: 8:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日は除く)



# RCライフを始めよう

## 組み立てて、走らせて、チューニングして 楽しさがどんどん広がるタミヤのRCモデル

走らせるのはもちろん、精巧なメカニズムを組み立て、改造ができるのもラジオコントロールモデルの魅力。その面白さは世界中に多くのファンがいることでも実証済みです。さらに友達を集めてレースをすれば、エキサイティングな楽しさにはまること確実。実車のレーシングドライバーにファンが多いのも、ドライブテクニックや駆け引きが実車そのままだからでしょう。



### STEP 1 お気に入りのモデルを選ぼう



スタイルで選ぶのもよし、走りのメカニズムで選ぶのもよし、さらにオンロードかオフロードが走る場所で選ぶのもよし。豊富に揃ったラインナップの中からお気に入りの1台を選ぶこと、そこからRCライフがスタートします。とことん遊べる頼もしいパートナーをじっくり選んでください。

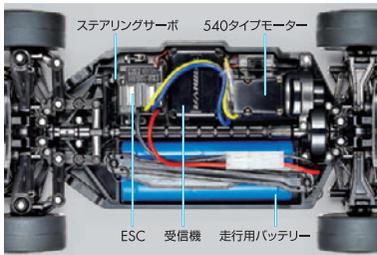
### STEP 2 マシンをコントロールするRCメカ、 走行用バッテリーや充電器も必要

これが  
オススメ



ファインスペック 2.4G  
電動RCドライブセット  
15,180円(税込) ITEM 45053

電動RCカーを操作するために必要なのが2チャンネルプロポ。送信機と受信機、サーボ、ESC(スピードコントローラー)で構成されています。操作を行う送信機はホイールトリガータイプが主流。マシンに搭載する受信機は送信機の電波をキャッチ。サーボはステアリングを担当、ESCはスピードをコントロールします。その他に走行用バッテリーや充電器も必要です。タミヤからは「ファインスペック2.4G電動RCドライブセット」が発売中。ホイールトリガータイプの送信機に受信機、ESC、サーボのプロポセットに加え、走行用のバッテリーと充電器もワンパッケージ。走行に必要なものがほぼそろっています。



### STEP 3 組み立てに欠かせない 工具もラインナップ

これが  
オススメ

モデラーズニッパーα(グレイ)  
1,320円(税込)  
ITEM 74093



RCツール8本セット 2,420円(税込) ITEM 74085

組み立ての善し悪しが走行性能を左右するキットRCカー。組み立てに必要な工具もラインナップ。精度も高く、ビスなどのサイズにジャストフィット。組み立てやメンテナンスがスムーズです。

### 箱から出してすぐに楽しめる 組み立て済み完成モデル

**XB**  
EXPERT BUILD PRO

組立て&塗装済みのマシンと、走行に必要なRCシステムをセットにしたのがXBシリーズ。バッテリーを充電すれば、すぐに走りが楽しめます。もちろん、車体構成はキットRCカーと同じですから、セッティングやチューンナップも可能。走行性能を高めることもできます。



XB プラスマエッジII  
25,080円(税込) ITEM 57897 全長=370mm 4WD  
※送信機用乾電池が別途必要です。

このチラシの内容は2020年1月現在のものです。

### タミヤRCモデルに関する詳しい情報はホームページで

レースや走行会、組み立て教室から新製品展示会までRCイベントに関する情報も満載。[[www.tamiya.com](http://www.tamiya.com)]

●価格がすべてメーカー希望小売価格です。●掲載されている写真は製品を組み立て、塗装したものです。また実際の製品と仕様が異なる場合があります。

株式会社タミヤ 〒422-8610 静岡県駿河区恩田原3-7 ●ネットでかんたんショッピング、タミヤショップオンライン [[tamiyashop.jp](http://tamiyashop.jp)]

製品に関するお問い合わせはタミヤカスタマーサービスまで、TEL 054-283-0003[静岡] 03-3899-3765[東京](静岡へ自動転送)

営業時間:平日 9:00~18:00 土日祝 8:00~12:00、13:00~17:00 お問い合わせの際には、電話番号をお確かめの上、おかけ間違いのないようお願いいたします。



© 2020 TAMIYA PRINTED IN JAPAN 2001CH